

## ◆滝の間「三十三番観音」



「十六番目観音」漢数字が台座に彫られています

八峰町白神ガイドの会の有志で、八森滝の間地区「三十三番観音」の巡検をしました。滝の間の裏山は観音森と呼ばれ、観音を彫った三十三の石像が山道に沿つて順番に安置されています。三十三番目観音のみ滝の間自治会が管理する地蔵堂に、他の観音像とともに安置しています。観音森はトレッキングしながら約3時間で1巡りすることができます。



「地蔵堂」最奥の大きな石像が三十三番目観音

清水寺 松風や 音羽の滝は  
きよみづの むすぶ心は 涼か  
るらん

観音経では、観音は33種類の姿になつてあらゆる人を苦難から救済するとれます。そして、三十三観音信仰は全国各地にあり、巡礼参拝すると犯した罪業が消滅し、極楽往生できると言われています。滝の間の三十三番観音も坊主や女性、子どもなど一体一体異なる姿をしています。

三郎が巡礼した西国各地の仏閣にまつわる和歌が記述してあります。上の写真は十六番目観音ですが、立て札には左のように記述してあります。

「十六番 山城の国  
清水寺 松風や 音羽の滝は  
きよみづの むすぶ心は 涼か  
るらん」

を運び、石像を刻んで自分の持山に祀つたとされています。

石像の立て札にはそれぞれ仁三郎が巡礼した西国各地の仏閣にまつわる和歌が記述してあります。上の写真は十六番目観音ですが、立て札には左のように記述してあります。

## ◆ガイド共通講座

2月2日～3日に秋田県ジオパーク連絡協議会主催のガイド共通講座が男鹿半島・大潟ジオパークで行われました。講座では講演会や座談会が行われ、秋田県内からガイド約60名が集まりました。八峰白神ジオパークからも7名が参加し、各地域のガイドが抱える共通の課題について情報共有しました。



講演会では心を静める座禅体験も行いました



座談会は終始和気あいあいと進みました

は素朴な自然が魅力で、外国からわざわざ訪れる人は少なからず冒険心を持っていると思う。現地の人の英語の堪能さよりも、ワクワクするような体験ができるかが大事」と語りました。

2日目は参加者で座談会を行い、ガイド中に困った経験談やガイドのコツなどについてテーマごとに話し合いました。今回の講座を経て、ガイドのスキルアップと同時に県内のガイド同士の交流が深りました。

1日目は男鹿市の大龍寺を会場に、住職の三浦賢翁・三浦グレッチャン夫妻による講演会とお寺のミニツアーが行われました。アメリカ出身のグレッチャン氏はチベットやネパールを旅した自身の経験をもとに「秋田

八峰白神ジオパーク推進協議会  
地域おこし協力隊 三輪拓磨

〒018-2632  
秋田県山本郡八峰町八森字三十釜一四四一  
ぶなつこランド内

TEL 0185-177-3086